



佳作（伊予銀行賞）

ブックスクラップ Part5

ヨッさん

紙 マーカー ペン

作品について
私自身が描きやすい
作品を描きました。

講評

腕時計にイヤリング、そしてバンダナなど、さまざまな種類の装飾品が並んでいる。どれもよく特徴を捉えているが、とくに最下段に描かれた眼鏡ケースからチラリと覗く眼鏡に、心を奪われた。

そもそも、アクセサリとは、古代エジプト時代に人の身体に模様を施して装飾したことがその起源だと言われている。つまり、そこには人が自らの身体を使って創作するという表現の原初的な動機が垣間見えるのだ。

恐らく支援者によってコラージュされたであろう画面から、これらは作者の手によって、別々に描かれたものだということが分かる。大好きなアクセサリを身に着けることができない代わりに、手のひらサイズの紙に描くことで作者はその欲求を満たしているのだろうか。古来の人々が骨や木片を組み合わせで装飾品を創造したように、作者もこの先、独自の装飾品を画面の中で生み出してくれることを僕は期待したい。（櫛野展正）